

【事例1】工賃向上に向けた取組

施設名	イマココ古河（古河市東本町）		
設置者	一般社団法人アイネット		
定員	14名		
利用者数	14名		
平均月額工賃の推移	R2：12,886円	R3：16,580円	R4：25,508円
主な作業内容	施設内作業（自動車部品の梱包、プラモデル袋詰）、除草作業		

工賃向上に向けたアドバイス

- 発注元との交渉は必要（単価交渉の結果、単価は据え置かれたが発注量は増）
- 工賃が上がるようになると、利用者の「意識・やる気」が変わる
- 「皆勤賞」を出して利用者の「やる気」を醸成→精神障害の利用者も通所率9割超

その他

（施設内作業）

- ・当初は単なる「袋詰め」だったが、徐々に実績を積んで、発注元の信頼を得た。
- ・（精神障害者と違って）知的障害者に対する作業指導は難しいが、簡単なことから少しずつできるように指導している。
- ・発注量が増えたことにより時給は500円を超えている。

（施設外作業）

- ・当初は除草作業⇒現在は高齢者施設の施設内清掃がメイン。
- ・施設内作業量の減少を補完するために、施設外作業を増やしていきたい。

（その他）

- ・最低賃金を目標に工賃向上に取り組んでいる。
- ・施設外作業だけでなく、施設内での軽作業でも高い工賃の仕事を得るようになった結果、利用者の役割の幅が増え、全体的な工賃アップにつながった。

作業の様子（プラモデルの袋詰め作業）

